

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年9月8日(2011.9.8)

【公開番号】特開2010-138205(P2010-138205A)

【公開日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-025

【出願番号】特願2010-58365(P2010-58365)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/12	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 K	39/235	(2006.01)
A 6 1 K	39/145	(2006.01)
A 6 1 K	39/155	(2006.01)
A 6 1 K	39/125	(2006.01)
A 6 1 K	39/245	(2006.01)
A 6 1 K	39/275	(2006.01)
A 6 1 K	39/15	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)
A 6 1 K	39/13	(2006.01)
A 6 1 K	39/29	(2006.01)
A 6 1 K	39/20	(2006.01)
A 6 1 K	39/25	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/14	(2006.01)
A 6 1 P	31/16	(2006.01)
A 6 1 P	31/20	(2006.01)
A 6 1 P	31/22	(2006.01)
C 1 2 N	7/02	(2006.01)
C 1 2 N	5/077	(2010.01)
C 1 2 N	7/04	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/12	
C 1 2 P	21/02	A
A 6 1 K	39/235	
A 6 1 K	39/145	
A 6 1 K	39/155	
A 6 1 K	39/125	
A 6 1 K	39/245	
A 6 1 K	39/275	
A 6 1 K	39/15	
A 6 1 K	39/39	
A 6 1 K	39/13	
A 6 1 K	39/29	
A 6 1 K	39/20	
A 6 1 K	39/25	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/14	
A 6 1 P	31/16	
A 6 1 P	31/20	

A 6 1 P 31/22
C 1 2 N 7/02
C 1 2 N 5/00 2 0 2 G
C 1 2 N 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月15日(2011.7.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワクチンの大規模生成のための方法であって、該方法は、

(a) 無血清培地、無タンパク質培地、または化学的に規定された培地中で、M D C K 懸濁培養物を増殖させる工程であって、ここで

(i) 該增殖は、供給バッチ系で行われ；

(ii) 培養容積は、新鮮な培地の添加により増加され；そして

(iii) 100～10000Lの生成容量が達成される、工程；

(b) 該M D C K 懸濁培養物をウイルスに感染させる工程；

(c) 該ウイルスを、該M D C K 懸濁培養物中で増殖させる工程；および

(d) 該ウイルスまたは該ウイルスにより生成されるタンパク質を、該細胞培養物から単離する工程

を包含する方法。

【請求項2】

前記ウイルスは、-プロピオラクトンの使用により不活性化されることを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記細胞の前記増殖は、感染前に化学的に規定された培地中で、そして感染後に無タンパク質培地中で行われる、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

前記M D C K 細胞株は、細胞株M D C K 3 3 0 1 6 に由来する、請求項1～3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

前記ウイルスは、ssDNAウイルス、dsDNAウイルス、RNA(+)ウイルス、RNA(-)ウイルスまたはdsRNAウイルスであることを特徴とする、請求項1～4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】

前記ウイルスは、アデノウイルス、オルトミクソウイルスもしくはパラミクソウイルス、レオウイルス、ピコルナウイルス、エンテロウイルス、フラビウイルス、アレナウイルス、ヘルペスウイルス、またはポックスウイルスから選択されることを特徴とする、請求項1～5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項7】

前記ウイルスは、アデノウイルス、ポリオウイルス、A型肝炎ウイルス、日本脳炎ウイルス、ヨーロッパダニ媒介性脳炎ウイルス、および関連する東洋形態、デング熱ウイルス、黄熱病ウイルス、C型肝炎ウイルス、風疹ウイルス、流行性耳下腺炎ウイルス、麻疹ウイルス、RSウイルス、ワクシニアウイルス、インフルエンザウイルス、ロタウイルス、ラブドウイルス、肺炎ウイルス、レオウイルス、1型単純ヘルペスウイルスまたは2型単純ヘルペスウイルス2、サイトメガロウイルス、水痘带状疱疹ウイルス、イヌアデノウイ

ルス、エプスタイン - バーウイルス、ウシヘルペスウイルスまたはブタヘルペスウイルス、または仮性狂犬病ウイルスである、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記ワクチンは、アジュバント、補助剤、緩衝剤、希釈剤または薬物キャリアと混合される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

(d) 前記ウイルスを C S クロマトグラフィーカラムおよび / またはスクロース勾配超遠心分離により精製する工程をさらに包含する、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。